

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 多文化まちづくり工房

1. 事業の趣旨・目的

地域に暮らす外国籍住民が仕事に従事していない時間や学校に行っていない時間を使い、日本で暮らす上での基礎となる日本語を母語によるサポートと地域の様々な社会資源とのつながりを活用しながら、集中的に学び、地域生活に必要な日本語能力と知識を身につけてもらう。

地域の中で育った母語のできる若者にも日本語指導者や通訳としてかかわってもらうことで、効率的に安心して学ぶことができるクラス運営を行うと同時に、サポートする側である彼ら自身の成長にもつなげていく。

また日本語教室を通して、地域の様々な社会資源のつながりを構築し、あらたなコミュニティづくりにつなげていくことも大きな目的の一つである。

ボランティアとして関わる学生や社会人、主婦やリタイアした人など多様な立場の日本人と、地域の中で育った様々な国籍の若者たち、そして地域の様々な組織が、日本で定住していこうとする外国籍住民の日本語学習をサポートしていくことで、より充実した学習環境を生み出し、地域の中での新しい人間関係と新たなコミュニティを生み出す中心としていきたい。

これらの取り組みと同時に、今地域の中で新たに育とうとしてる、幼い子どもたちとその親を、地域として、日本語教室として、成長をサポートしていくことも、これからの地域社会を考えていく上では欠かすことのできない仕組みであり、そのための日本語を始めとした、様々な能力を育てるノウハウとそれを支えるネットワークを作ることも大きな目的である。

2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月4日 14:00～ 16:00	多文化まち づくり工房事 務所	堀江廣史 深山武志 河先俊子 齋藤正二 早川秀樹 ゲン・ファ ン・ティ・ホ アン・ハー 長谷部美佳	今後の事業の日程 東日本大震災の影響 について 授業内容について 諸機関の関わりにつ いて 情報交換	各教室の日程確認。自治 会行事確認。団地祭りの 日は休みにする。日程上 で、大きな問題はなし。 震災後地域内でも変化あ り。帰国する人も多い。 新規来日者は減る可能性 も。職場も忙しいらしい。 災害対応も日本語教室 で、考える必要がある。 教材は今まで通りのもの を中心に。絵教材などを多 く使い、現実的かつ自由 な発話につながるよう心 がける。実生活の場面を 想定した言葉や会話を学 べるよう気をつける。 地域からもサポートをす る。自治会、コミュニテ ィハウスなどの協力確 認。事業を一部一緒に行 うことも検討。消防は異 動があり、関わりがしば らくは困難の可能性あ り。フェリスからは大学 生を授業の一環で派遣も 可能。図書館、警察、区 役所の協力了承も確認。
9月10日 14:00～ 16:00	多文化まち づくり工房事 務所	堀江廣史 深山武志 河先俊子 安達真弓 早川秀樹	これまでの振り返り 夜の日本語教室につ いて プレスクールについ て	開始から3ヶ月が経過。 夏休みも過ぎ、学習者は ある程度安定している が、年齢層が高め。10代 の来日が減ったようだ。

		<p>ゲン・ファン・ティ・ホアン・ハー</p>	<p>地域の状況について 情報交換</p>	<p>学習の定着もゆっくりなので、授業の前後に時間を取り、時間をかける必要がある。</p> <p>プログラムは始まったばかりだが、学習者が少なめな印象。仕事が忙しく残業が多いという話も。来日直後も仕事がある。新規学習者というより、学び直しという人が多い。ある程度話はできているが、通訳を通してみると案外わかっていないことが多い印象。</p> <p>教材はこれまでと同じものを使用。できるだけ会話練習の時間も多くとりたい。地域の方にもさんかしてもらい、話に加わってもらいたい。</p> <p>二部屋に分けたほうがいい。場所の確保は行事が重ならなければ、コミュニティで可能。</p> <p>プレスクールは初めての取り組み。手探りだが、愛知県の「プレスクール実施マニュアル」などは参考に。図書館のグループ貸出登録も行ったので、活用したい。</p> <p>区役所や警察も関心を持っているので、協力してプログラムを行いたい。コミュニティハウスとし</p>
--	--	-------------------------	---------------------------	--

				<p>でも協力をする。節分祭やクリスマス会、防犯講座や護身術講座を計画中。一緒に企画を。</p> <p>五十音の教材は準備済。いずれはいろいろな絵カードを準備したい。</p> <p>東日本大震災の関係で、通常の新規入居の募集が延期。例年より3ヶ月は遅れて入居が始まる。</p> <p>周辺地域の工場は、忙しい。生活安定には重要だが、仕事をしながら日本語を学べるように。</p>
<p>1月14日 14:00～ 16:00</p>	<p>多文化まち づくり工房事 務所</p>	<p>安達真弓 夏井慎太郎 早川秀樹 ゲン・ファン・ティ・ホ アン・ハー</p>	<p>これまでの振り返り 警察とのプログラム 検討 プレスクールについて 購入教材の検討</p>	<p>プレスクールは、ロコミで増えてきている。次年度1年生の数を考えれば、十分。</p> <p>これまでAPECや東日本大震災後で、警察とはつながり不十分。今後はプログラムに協力したい。</p> <p>自転車やバイク盗難、ひったくりの対策を説明。通報訓練も。幼児向けの交通安全指導も可能。非行防止の取り組みもコミュニティハウスとの防犯講座にあわせて行う。</p> <p>こどもたちのレベル差が大きい。通っている保育園によっても違い。語彙が少ない。</p> <p>鉛筆の持ち方が安定。繰り返しが重要。</p> <p>親たちの意識も差が大き</p>

				<p>い。親たち同士で意識を高めあうことも重要。母語の絵本などを集積する場を。学校と相談。学校からもいろいろな協力をもらっている。場所も校内で雰囲気もよい。図書館からも協力。事業終了までに、プロの読み聞かせを。</p> <p>絵教材中心に教材購入。絵カードも一式購入。カルタも必要。</p> <p>絵本は購入困難。図書館活用。今後集積場所が確保可能な場合、地域の人に提供呼びかけ。外国籍住民からは母語の絵本も可能か。</p> <p>大学で本を寄付するプログラムあり。活用検討。</p>
--	--	--	--	--



3. 日本語教室の開催について

- (1) 講座名 地域で学ぶ日本語教室
- (2) 開催場所 多文化まちづくり工房事務所
- (3) 学習目標

地域生活に必要な日本語能力と知識を身につける。また、高校への進学、安定的な就労などのためにも、基礎となる日本語力を身につけ、将来的には進学や安定した就労

を目標とし、介護などの現場の知識や報告書などで必要とされる読み書きの能力も育成する。

(4) 使用した教材・リソース

日本語初級教科書「大地」、かんじ、千六の漢字、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的カリキュラム案について、絵で導入・絵で練習、おたすけタスク

(5) 受講者の募集方法

独自チラシと当団体で配布している多言語資料の一部を使い広報した。また、生活相談事業の中など日常的な活動の中で相談に来る人などにも通訳を通して声をかけた。

(6) 受講者の総数 16 人

(出身・国籍別内 ベトナム 9人 カンボジア 6人 中国 1人)

(7) 開催時間数(回数) 90 時間 (全 60 回)

(8) 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	受講者数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	2012/6/3 10:30~12:00	1.5 時間	10人	ベトナム語7人 カンボジア語2人 中国語1人	教授者4人	ひらがな・あいさつ・自己紹介
2	2012/6/7 10:30~12:00	1.5 時間	9人	ベトナム語7人 カンボジア語2人	教授者4人 補助者1人	「～人です」「～さいです」「～に住んでいます。」
3	2012/6/10 10:30~12:00	1.5 時間	10人	ベトナム語7人 カンボジア語2人 中国語1人	教授者4人	「これ、それ、あれ」「なんですか」
4	2012/6/14 10:30~12:00	1.5 時間	9人	ベトナム語7人 カンボジア語2人	教授者4人	「この、その、あの」「だれの」
5	2012/6/17 10:30~12:00	1.5 時間	11人	ベトナム語7人 カンボジア語3人 中国語1人	教授者4人	「ここ、そこ、あそこ、どこ」
6	2012/6/21 10:30~12:00	1.5 時間	10人	ベトナム語7人 カンボジア語3人	教授者4人	「いくらですか」
7	2012/6/24 10:30~12:00	1.5 時間	9人	ベトナム語6人 カンボジア語2人 中国語1人	教授者4人	「～を～ますか」「～を～ます」、昨日今日明日
8	2012/6/28 10:30~12:00	1.5 時間	9人	ベトナム語6人 カンボジア語3人	教授者4人	「～を～ません」「～(場所)で」
9	2012/7/1	1.5	9人	ベトナム語6人	教授者4人	「何時ですか」「～(時間)」

	10:30~12:00	時間	人	カンボジア語2人 中国語1人		に」「～から～まで」、時間
10	2012/7/5 10:30~12:00	1.5 時間	8人	ベトナム語5人 カンボジア語3人	教授者4人	「～ました」「～ませんでした
11	2012/7/8 10:30~12:00	1.5 時間	8人	ベトナム語5人 カンボジア語2人 中国語1人	教授者4人	曜日。「～ました」「～ませんでした
12	2012/7/12 10:30~12:00	1.5 時間	8人	ベトナム語6人 カンボジア語2人	教授者4人	「どこへ行きましたか」「いつ日本に来ましたか」「どこから来ましたか
13	2012/7/15 10:30~12:00	1.5 時間	7人	ベトナム語4人 カンボジア語2人 中国語1人	教授者4人	「なにで行きましたか/来ましたか」「だれと～」
14	2012/7/19 10:30~12:00	1.5 時間	3人	ベトナム語2人 カンボジア語1人	教授者4人 補助者1人	自己紹介。「～に日本に来ました」「～から来ました」。前半まとめ。
15	2012/8/23 10:30~12:00	1.5 時間	8人	ベトナム語7人 カンボジア語1人	教授者4人	漢字(一 右)イ形容詞とナ形容詞
16	2012/8/26 10:30~12:00	1.5 時間	4人	ベトナム語3人 カンボジア語1人	教授者4人	漢字(雨 円)「くないです」「じゃありません
17	2012/8/30 10:30~12:00	1.5 時間	7人	ベトナム語6人 カンボジア語1人	教授者4人	漢字(王 音)、形容詞の復習。
18	2012/9/2 10:30~12:00	1.5 時間	4人	ベトナム語3人 カンボジア語1人	教授者4人	漢字(下 火)、「あります」「います」。方向や位置。「～に～がいます(あります)」
19	2012/9/6 10:30~12:00	1.5 時間	8人	ベトナム語7人 カンボジア語1人	教授者4人	漢字(花 貝)、「どこに」「～にん」
20	2012/9/9 10:30~12:00	1.5 時間	8人	ベトナム語6人 カンボジア語2人	教授者4人	漢字(学 気)、「どんな～がすきですか」
21	2012/9/13 10:30~12:00	1.5 時間	8人	ベトナム語7人 カンボジア語1人	教授者4人	漢字(九 休)、「～(理由)から」
22	2012/9/16 10:30~12:00	1.5 時間	8人	ベトナム語6人 カンボジア語2人	教授者4人	漢字(玉 金)、「あげます」「貸します」「教えます」
23	2012/9/20	1.5	7人	ベトナム語6人	教授者4人	漢字(空 月)「もらいま

	10 : 30~12 : 00	時間		カンボジア語 1 人		す」「かります」「習います」
24	2012/9/27 10 : 30~12 : 00	1.5 時間	8 人	ベトナム語 7 人 カンボジア語 1 人	教授者 4 人 補助者 1 人	漢字 (犬 見)「~は~が~です」「~は~より~です」。地域の行事についてのお話を聞く。
25	2012/10/4 10 : 30~12 : 00	1.5 時間	8 人	ベトナム語 7 人 カンボジア語 1 人	教授者 4 人	漢字復習、「どちらが」「~のほうが」「~がいちばん~」
26	2012/10/7 10 : 30~12 : 00	1.5 時間	11 人	ベトナム語 7 人 カンボジア語 4 人	教授者 4 人	漢字チェックテスト、「~くて/~で」
27	2012/10/11 10 : 30~12 : 00	1.5 時間	10 人	ベトナム語 7 人 カンボジア語 3 人	教授者 4 人	漢字 (五 口 校 左)、「~かったです」「~でした」
28	2012/10/14 10 : 30~12 : 00	1.5 時間	11 人	ベトナム語 7 人 カンボジア語 4 人	教授者 4 人	漢字復習、「~くなかったです」「~じゃありませんでした」。まとめの問題の確認。
29	2012/10/18 10 : 30~12 : 00	1.5 時間	10 人	ベトナム語 6 人 カンボジア語 4 人	教授者 4 人	漢字 (三 山 子 四)、「~がほしいです」
30	2012/10/21 10 : 30~12 : 00	1.5 時間	12 人	ベトナム語 7 人 カンボジア語 5 人	教授者 4 人	漢字復習、「~たいです」「~たくないです」「~たかったです」「~たくなかったです」「~ましようか」
31	2012/10/25 10 : 30~12 : 00	1.5 時間	11 人	ベトナム語 7 人 カンボジア語 4 人	教授者 4 人	漢字 (糸 字 耳 七)、動詞のグループ分け。辞書形
32	2012/10/28 10 : 30~12 : 00	1.5 時間	12 人	ベトナム語 7 人 カンボジア語 5 人	教授者 4 人	漢字復習、辞書形の復習。「辞書形+ことです」「~ことができます」
33	2012/11/1 10 : 30~12 : 00	1.5 時間	12 人	ベトナム語 8 人 カンボジア語 4 人	教授者 4 人	漢字 (車 手 十 出)、辞書形の確認。「~まえに」
34	2012/11/4 10 : 30~12 : 00	1.5 時間	12 人	ベトナム語 8 人 カンボジア語 4 人	教授者 4 人	漢字復習、グループ分け復習。て形
35	2012/11/8 10 : 30~12 : 00	1.5 時間	11 人	ベトナム語 7 人 カンボジア語 4 人	教授者 4 人	漢字 (女 小 上 森)、「~てください」

36	2012/11/11 10:30~12:00	1.5 時間	10人	ベトナム語6人 カンボジア語4人	教授者4人	漢字復習、「～ています」
37	2012/11/15 10:30~12:00	1.5 時間	11人	ベトナム語7人 カンボジア語4人	教授者4人	漢字(人水正生)、「～ てもいいです」「～てもい いですか」
38	2012/11/18 10:30~12:00	1.5 時間	9人	ベトナム語5人 カンボジア語4人	教授者4人	漢字復習「～てはいけま せん」「～て～て」
39	2012/11/22 10:30~12:00	1.5 時間	8人	ベトナム語4人 カンボジア語4人	教授者4人	漢字(千川先早)、グ ループ分け確認。ない形
40	2012/11/25 10:30~12:00	1.5 時間	8人	ベトナム語4人 カンボジア語4人	教授者4人	漢字復習、「～ないでくだ さい」
41	2012/11/29 10:30~12:00	1.5 時間	8人	ベトナム語4人 カンボジア語4人	教授者4人	漢字(草足村大)、「～ なくてもいいです」「～て から、～」
42	2012/12/2 10:30~12:00	1.5 時間	7人	ベトナム語4人 カンボジア語3人	教授者4人	漢字復習。グループ分け 確認とた形のへの変化の 練習。
43	2012/12/6 10:30~12:00	1.5 時間	6人	ベトナム語4人 カンボジア語2人	教授者4人	漢字(男竹中虫)「～ たことがあります」
44	2012/12/9 10:30~12:00	1.5 時間	7人	ベトナム語4人 カンボジア語3人	教授者4人	漢字復習「～たり、～た り」「～たあとで」
45	2012/12/13 10:30~12:00	1.5 時間	6人	ベトナム語3人 カンボジア語3人	教授者4人 補助者1人	漢字(町天田土)、地 域振興課と協働で作った カンボジア語などの分別 表を使い、ゴミ分別の説 明をする。「～てもいいで す」「～てはいけません」 「～てもいいですか」
46	2012/12/16 10:30~12:00	1.5 時間	8人	ベトナム語5人 カンボジア語3人	教授者4人	漢字復習、ます形、辞書 形、て形、ない形、た形 の復習。
47	2012/1/13 10:30~12:00	1.5 時間	8人	ベトナム語5人 カンボジア語3人	教授者4人	漢字チェックテスト、動 詞の普通形
48	2012/1/17 10:30~12:00	1.5 時間	9人	ベトナム語6人 カンボジア語3人	教授者4人	漢字(二日入年)、「～ と思います」
49	2012/1/20	1.5	8人	ベトナム語5人	教授者4人	漢字復習、「～と言いまし

	10:30~12:00	時間		カンボジア語3人		た」
50	2012/1/24 10:30~12:00	1.5 時間	7人	ベトナム語4人 カンボジア語3人	教授者4人	漢字(白八百文)、「～ をする～」
51	2012/1/27 10:30~12:00	1.5 時間	7人	ベトナム語4人 カンボジア語3人	教授者4人	漢字復習、「～がした～」
52	2012/1/31 10:30~12:00	1.5 時間	7人	ベトナム語4人 カンボジア語3人	教授者4人	漢字(木本名目)、「～ ている～」
53	2012/2/3 10:30~12:00	1.5 時間	7人	ベトナム語4人 カンボジア語3人	教授者4人	漢字復習「～たら」
54	2012/2/7 10:30~12:00	1.5 時間	5人	ベトナム語3人 カンボジア語2人	教授者4人	漢字(立力林六)、「～ ても」
55	2012/2/10 10:30~12:00	1.5 時間	7人	ベトナム語4人 カンボジア語3人	教授者4人	漢字復習、「たら」「ても」 の復習。
56	2012/2/14 10:30~12:00	1.5 時間	7人	ベトナム語4人 カンボジア語3人	教授者4人	漢字チェックテスト「く れました」「(もの)をく れました」「(動詞)てく れました」
57	2012/2/17 10:30~12:00	1.5 時間	6人	ベトナム語3人 カンボジア語3人	教授者4人	漢字チェックテスト解答 確認、「もらいました」「く れました」
58	2012/2/21 10:30~12:00	1.5 時間	7人	ベトナム語4人 カンボジア語3人	教授者4人	漢字チェックテスト、「あ げました」
59	2012/2/24 10:30~12:00	1.5 時間	7人	ベトナム語4人 カンボジア語3人	教授者4人 補助者1人	警察からの防犯指導、シ チュエーションに合わせ た通報の練習。まとめの 問題。N5問題練習。
60	2012/2/28 10:30~12:00	1.5 時間	6人	ベトナム語3人 カンボジア語3人	教授者4人 補助者1人	N5問題および今までの 復習。

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

11月18日

前回の学習した「人、水、正、生」の4文字を小テストで確認。ホワイトボードに「ベトナム人」「水よう日」「正しい」「生まれる」「たん生日」などの前回の学習漢字を使った言葉を書き出し、読めるかどうか確認。母語を交えつつ、日本では物を数えるときに「正」の字を書く話などをする。「今日は何曜日?昨日は?一昨日は?」などの話をしながら、既習の「月よう日」「火よう日」「金よう日」なども復習してみる。たん生日を使って、日付の言い方の確認。

大地 16 課「～でもいいです」「～でもいいですか」の表現を復習。絵教材を見ながら、「電話を使ってもいいですか?」「アルバムを見てもいいですか?」「窓を開けてもいいですか?」などの表現が使えるかどうか確認。

「～てはいけません」の表現について母語を通して学び、練習問題を行い、普段の生活、特に集合住宅でのやってはいけないことについて、「カラオケをしてはいけません」「騒いではいけません」などの表現を試みる。

「～て～て」の表現を教える。母語をはさみながら説明し、浦島太郎の話を使って、「～て～て」を使う。浦島太郎の話がわかりにくかったため、母語で説明してもらい、自分たちの普段の生活、例えば家に帰ったらや仕事に行ったら、勉強が終わったら、などの条件に合わせて自由に発話してもらった。表現しきれない所は母語で確認しながら、日本語で表現できるようにした。

2月24日

宿題にしてあったまとめの問題だが、全員がやってきたわけではないので、最初に少し時間を取った後で、答え合わせをする。普通形の形の確認は問題がなかったが、前回学習した「あげました」を使った作文は難しかったので、一度、母語で内容を伝え、それを作文してもらった。読む問題については、あまり読解問題をやった経験がない人が多いので、母語で説明してもらいながら、一緒に読んで内容把握を行った。

泉警察の方に来てもらい、簡単な防犯指導をしてもらう。特に地域内で頻発している自転車やバイクの盗難対策として、普通の鍵とチェーンでダブルロックする大切さについて説明してもらった。また女性が多いということもあり、ひったくりの対策についても説明してもらった。歩道側の手にバッグを持つ、できるだけたすきがけにする、など実演を交えながら説明してもらった。

警察に通報する場面を想定し、簡単な通報の練習を行った。特に交通事故に合う人が多いので、「交通事故」にあってしまった時のことを想定しながら、場所をどうやって伝えるか、など練習を行った。

最後の少しあいた時間で、前回聞き終われなかった N5 のリスニング問題の聞き取り練習を行った。



3. 日本語教室の開催について

- (1) 講座名 就労者のための夜の日本語教室
- (2) 開催場所 いちょうコミュニティハウス
- (3) 学習目標

多様な文化背景を持つ人々が暮らす地域で、地域の中での様々な人間関係を形成しながら、地域で安心して暮らしていくための日本語能力や知識を学ぶ。

地域の中で育った母語のできる若者にも日本語指導者や通訳としてかかわってもらい、効率的に安心して学ぶことができるクラス運営を行う。また、ボランティアとして関わる学生や社会人、主婦やリタイアした人など多様な立場の日本人と、地域の中で育った様々な国籍の若者たちが、日本で定住していこうとする外国籍住民の日本語学習をサポートしていくことで、より充実した学習ができ、地域の中での新しい人間関係の構築にもつながる。特に就労で日中時間の取れない学習者が、日本語力の向上だけでなく、日本語学習を通じた地域とのつながりを作っていくことにも貢献する。

- (4) 使用した教材・リソース

にほんご 90 日1、にほんご 90 日2、おしゃべりのたね

(5) 受講者の募集方法

主に日常行っている日本語教室などで声をかけた。また当団体が配布している情報誌や生活相談の場でも声をかけたりした。

(6) 受講者の総数 35 人

(出身・国籍別内訳ベトナム 23 人, 中国 6 人, カンボジア 6 人)

(7) 開催時間数(回数) 70 時間 (全 35 回)

(8) 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	受講者数	国籍・母語 (人)	教授者・補助者人数	内容
1	2012/9/3 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	25 人	ベトナム語 17 人 中国語 4 人 カンボジア語 4 人	教授者 3 人 補助者 3 人	レベル確認、クラス分け、自己紹介 ・「～は～です」「～も～」「～はだれですか」 ・趣味や名前の書き方などの紹介
2	2012/9/7 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	23 人	ベトナム語 15 人 中国語 4 人 カンボジア語 4 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「これ、それ、あれ、どれ」「この、その、あの、どの」「の (所有)」 ・「～し」「～から」 N4 練習問題、会話練習。
3	2012/9/10 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	24 人	ベトナム語 16 人 中国語 4 人 カンボジア語 4 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「曜日、時間、今日、今週、今月」などの説明。「行きます」「行きません」「行きました」「行きませんでした」 ・「～ませんか」「～ましょう」「～にします」。食事や外食の会話。 N4 練習問題、会話練習。
4	2012/9/14 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	23 人	ベトナム語 14 人 中国語 5 人 カンボジア語 4 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「します」「～で～します」「～時に」「～から～まで」。 時間や曜日 ・動詞のグループ分け「て形、辞書形、ない形、た形」の変化。買い物についての会話。

						N4 練習問題、会話練習。
5	2012/9/17 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	25 人	ベトナム語 16 人 中国語 5 人 カンボジア語 4 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「ここ・そこ・あそこ」「どこ」、「上、下、右、左、前、中」「います・あります」 ・意向形「(よ) うと思います」。旅行についての会話。 N4 練習問題、会話練習。
6	2012/9/21 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	12 人	ベトナム語 8 人 中国語 2 人 カンボジア語 2 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・これまでの復習。いろいろな会話。 ・「どちらが～ですか」「～ほうが～です」「～のほうが～より～です」。自分の国の観光地などについて会話。N4 練習問題、会話練習。
7	2012/9/24 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	24 人	ベトナム語 16 人 中国語 5 人 カンボジア語 3 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「(い形容詞) いです」「(い形容詞) くないです」 ・「～がいちばん～です」「～てみます」。ペットについて会話。N4 練習問題、会話練習。
8	2012/9/28 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	22 人	ベトナム語 15 人 中国語 4 人 カンボジア語 3 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「(な形容詞) です」「(な形容詞) ではありません」「とても・ちょっと・あまり」 ・「あげます」。ペットについて会話。N4 練習問題、会話練習。
9	2012/10/5 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	26 人	ベトナム語 17 人 中国語 6 人 カンボジア語 3 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「(い形容詞) かったです」「(い形容詞) なかったです」い形容詞現在過去肯定否定まとめ。 ・「もらいます」。ジェスチャーについて会話。N4 練習問題、会話練習。
10	2012/10/8 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	30 人	ベトナム語 20 人 中国語 6 人 カンボジア語 4 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「(な形容詞) でした」「(な形容詞) ではありませんでした」。な形容詞現在過去肯定

						否定まとめ。 ・「くれます」。じゃんけんについて会話。N4 練習問題、会話練習。
11	2012/10/12 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	29 人	ベトナム語 18 人 中国語 6 人 カンボジア語 5 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・い形容詞、な形容詞の復習とまとめ。 ・「～ておきます」「～て/で～です」。健康や生活習慣について会話。N4 練習問題、会話練習。
12	2012/10/15 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	31 人	ベトナム語 20 人 中国語 6 人 カンボジア語 5 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「～が好きです」「～がきれいです」「～ですから」 ・「～が～ています」「～が～てあります」ストレス解消法や健康法について会話。N4 練習問題、会話練習。
13	2012/10/19 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	27 人	ベトナム語 18 人 中国語 5 人 カンボジア語 4 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「じょうずです」「へたです」 ・自動詞と他動詞。結婚について会話。N4 練習問題、会話練習。
14	2012/10/22 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	29 人	ベトナム語 19 人 中国語 5 人 カンボジア語 5 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「～がほしいです」「～はいくらですか」 ・「～んです」日本の季節や行事について会話。N4 練習問題、会話練習。
15	2012/10/26 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	26 人	ベトナム語 16 人 中国語 6 人 カンボジア語 4 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「～をください」「いつも・よく・ときどき・ぜんぜん」 ・「～たら」「～ても」母国の季節や気候などについて会話。N4 練習問題、会話練習。
16	2012/10/29 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	30 人	ベトナム語 19 人 中国語 6 人 カンボジア語 5 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「～たいです」「～たくないです」 ・「～ので」「～のに」食べ物について会話する。N4 練習問題、会話練習。
17	2012/11/2	2 時間	27 人	ベトナム語 17 人	教授者 3 人	・「～に行きます」「～ましょ

	18 : 45 ~ 20 : 45			中国語 6 人 カンボジア語 4 人	補助者 3 人	う」「～ますか」「それから」 ・「～くなる」「～になる」。 日本や母国の物価について 会話。N4 練習問題、会話練 習。
18	2012/11/5 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	31 人	ベトナム語 20 人 中国語 6 人 カンボジア語 5 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・これまでの復習。自分のこ とを話す。 ・「～たほうがいいです」「～ ないほうがいいです」貯金や 節約について会話。N4 練習 問題、会話練習。
19	2012/11/9 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	25 人	ベトナム語 16 人 中国語 5 人 カンボジア語 4 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・て形。「～てください」 ・可能形。スポーツについて の会話。N4 練習問題、会話 練習。
20	2012/11/12 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	32 人	ベトナム語 20 人 中国語 6 人 カンボジア語 6 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「～ています」 ・「～かどうか」「～かわかり ません」。伝統的スポーツに ついて会話。N4 練習問題、 会話練習。
21	2012/11/16 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	27 人	ベトナム語 17 人 中国語 5 人 カンボジア語 5 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「～て～て」「～てから」 ・「～てあげます」「～てやり ます」。日本の仕事について 会話。N4 練習問題、会話練 習。
22	2012/11/19 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	16 人	ベトナム語 10 人 中国語 3 人 カンボジア語 3 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「(い形容詞) くて」 ・「～てもらいます」「～てく れます」。自分の仕事につい て会話。N4 練習問題、会話 練習。
23	2012/11/26 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	28 人	ベトナム語 18 人 中国語 5 人 カンボジア語 5 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「～てもいいです」「～ても いいですか」「～てはいけま せん」 ・「～てしまいました」。携帯 電話について会話。N4 練習 問題、会話練習。

24	2012/11/30 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	27 人	ベトナム語 17 人 中国語 5 人 カンボジア語 5 人	教授者 3 人 補助者 3 人	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞のグループ分け、て形、い形容詞とな形容詞の混同を中心に復習。 ・自動詞と他動詞、「～てあげます」「～てもらいます」「～てくれます」復習。横浜や方言について会話。N4 練習問題、会話練習。
25	2012/12/3 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	25 人	ベトナム語 17 人 中国語 2 人 カンボジア語 6 人	教授者 3 人 補助者 3 人	<ul style="list-style-type: none"> ・ない形。「～ないでください」 ・受身形。犯罪や事故ことについて会話練習。
26	2012/12/7 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	25 人	ベトナム語 15 人 中国語 5 人 カンボジア語 5 人	教授者 3 人 補助者 3 人	<ul style="list-style-type: none"> ・「～なければなりません」「なくてもいいです」 ・受身文練習。病気や怪我をした時のことについて会話練習。
27	2012/12/10 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	26 人	ベトナム語 15 人 中国語 5 人 カンボジア語 6 人	教授者 3 人 補助者 3 人	<ul style="list-style-type: none"> ・「～ができます」「～がわかります」「～方」「～方をおしえてください」 ・「～は～に～られた」。災害時のことについて会話練習。
28	2012/12/14 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	24 人	ベトナム語 14 人 中国語 5 人 カンボジア語 5 人	教授者 3 人 補助者 3 人	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書形。「～ことができます」「～ことができません」 ・「～がみえます」「～が聞こえます」お祭りについて会話練習。
29	2012/12/17 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	25 人	ベトナム語 15 人 中国語 5 人 カンボジア語 5 人	教授者 3 人 補助者 3 人	<ul style="list-style-type: none"> ・「～は～ことです」「～（辞書形）まえに」 ・「～ために」「～ように」。母国の祭りやいちょうの祭りについて会話練習。
30	2012/1/11 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	22 人	ベトナム語 13 人 中国語 5 人 カンボジア語 4 人	教授者 3 人 補助者 3 人	<ul style="list-style-type: none"> ・た形。「～あとで」 ・可能形と受身形復習。話題すごろくを使い、色々なテーマで会話練習。

31	2012/1/14 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	24 人	ベトナム語 13 人 中国語 6 人 カンボジア語 5 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「～たことがあります」「～ たり～たり」「～しか」 ・使役形。言語の勉強方法に ついて会話練習。
32	2012/1/18 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	21 人	ベトナム語 12 人 中国語 5 人 カンボジア語 4 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・て形、辞書形、ない形、た 形のまとめ。友達同士の会話 を試みる。 ・「～に～を～せる」。男女の 仕事について会話練習。
33	2012/1/21 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	14 人	ベトナム語 8 人 中国語 2 人 カンボジア語 4 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「～と思います」「～でしょ う」「たぶん・きっと」 ・「～は～を～させます」「～ させていただけませんか」男 女の役割や家事について会 話練習。
34	2012/1/25 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	22 人	ベトナム語 12 人 中国語 6 人 カンボジア語 4 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・「普通形+名詞」 ・命令形。「～てくれ」ゴミ についての会話練習。
35	2012/1/28 18 : 45 ~ 20 : 45	2 時間	23 人	ベトナム語 12 人 中国語 6 人 カンボジア語 5 人	教授者 3 人 補助者 3 人	・これまでのまとめと復習。 特に動詞のグループ分けと 変化について。読み物を読 む。 「～ようにしてください」 「～ようにといました」。 ゴミについての会話練習。

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

9月17日

・教科書新出単語の確認。物や場所を表す多くの言葉が出てくるため、母語を使いながら、意味を確認。「ここ・そこ・あそこ」「どこ」の違いを学習。話し手と聞き手の位置関係に注意しながら説明し、教室の中の物を使いながら何度も練習してみる。「上、下、右、左、となり、前、中」などの意味を母語を使って解説。体を動かしながら、一つ一つの方向を確認して練習する。「います・あります」意味と使いわけについて説明し、これを使って物や人の場所を表現する。教科書の練習問題、絵教材、教室の中のものを使いながら、繰り返し練習し、最後に講師に続いて本文を読んでもみる。

・教科書新出単語の確認。本文を読んで、母語を使いながら意味を確認。「～(よ)うと思います」

の意味を確認し、動詞の意向形への変化を説明。文型練習帳で練習問題を解いた後、いろいろな動詞を列挙しながら、意向形に変える練習。これからの予定について各自表現してみる。おしゃべりのたねのプリントを見ながら、旅行についてのいろいろな言葉を勉強。知りたい言葉の日本語などを補助者に確認。ボランティアを交えながら小グループで旅行についての予定などについて話してみる。N4 受験予定者は会話には参加せず、問題練習。

11月26日

・新出単語の確認。意味は母語で説明してもらい、実際の発音してみる。「～てもいいです」の使い方の説明と「～てはいけません」の説明を母語でしてもらい。それぞれの形の作り方を学習し、いろいろな行為と○×が書いてある絵を見ながら、表現してみる。「～てもいいですか」の意味を確認し、先ほどの絵についてペアで「～てもいいですか」「～てもいいです」「～てはいけません」を練習する。本文の会話文をみんなで読み、内容を母語で確認。その後ペアで読んでみる。教師が読み、生徒は教科書を見ないで発音してみる。

団地の生活や母国での生活でやっていいこと悪いことを話す。表現できない部分は母語で表現し、日本語での表現を補助者に説明してもらう。

・新出単語確認。ほとんどが既習単語。「～てしまいました」について説明。失敗したことの表現で使うことを説明。「～ました」から「～てしまいました」の形への変換を練習。本文の会話文を講師に続いて読んでみる。意味を確認。ペアで音読後、教科書を見ないで講師に続いて読んでみる。50課の後にある読み物「さいふ」を分かり難い所は母語での解説を交えながら、みんなで読んでみる。本文に警察に届けでる話があり、そういったとき、警察にはなんと行ったらよいか、ということで、その場面を想定して、練習をした。

大学生のボランティアも加わり、できるだけ小さなグループを作って「おしゃべりのたね」のプリントを見ながら、携帯電話について会話し、自分の失敗体験などを話す練習をした。一部の N4 受験予定の生徒は別に N4 の練習問題を行った。





3. 日本語教室の開催について

- (1) 講座名 親とこどものためのプレスクール
- (2) 開催場所 いちよう小学校
- (3) 学習目標

こどもたちには、学校生活に必要な言葉や学習活動を中心に学んでもらい、小学校入学後、スムーズに学校生活に入っていけるようサポートする。

親たちには、同世代の親たちのネットワークを作ってもらいつつ、そこに日本での子育て経験のある親世代の人たちに関わってもらい、日本の教育システムや子どもの発達について、学んでもらう。その中で、長期的な視点で子どもたちの教育に取り組んでもらい、親たちも家庭でこどもたちの宿題を見たり、音読を聞いたりといった、学習のサポートあるいは進学の相談などが行えるようにしていく。

また、絵本の読み聞かせなどについても理解をしてもらい、最終的にはこどもに対して母語での読み聞かせなどの時間を取れるようにしたい。絵本や読み聞かせの方法については図書館や子育て経験のある外国籍の親たちにも協力してもらおう。

- (4) 使用した教材・リソース

プレスクール実施マニュアル、くもんの各種カード教具、ことばかるた、絵本・紙芝居多数

- (5) 受講者の募集方法

チラシを日本語・ベトナム語・中国語・カンボジア語で作成し、団地内で戸配した。また、日常的に戸配している情報誌にも掲載した。

- (6) 受講者の総数 18 人

(出身・国籍別内訳 ベトナム 14 人、カンボジア 4 人)

- (7) 開催時間数(回数) 60 時間 (全 24 回)

(8) 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	受講者数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	2012/9/17 9:30~12:00	2.5 時間	6人	ベトナム語4人 カンボジア語2人	教授者6人	ボキャブラリーの確認、親からこどもの育成状況について聞き取りを行う。
2	2012/9/24 9:30~12:00	2.5 時間	8人	ベトナム語6人 カンボジア語2人	教授者6人	あいさつと名前、絵カード、絵本の読み聞かせ、親からこどもの育成状況についての聞き取り
3	2012/10/8 9:30~12:00	2.5 時間	8人	ベトナム語6人 カンボジア語2人	教授者6人	前回の復習。あいうえお(ひらがなカード・五十音表・練習プリントなどを使いながら)、絵カード、絵本の読み聞かせ、日本の学校についての説明
4	2012/10/15 9:30~12:00	2.5 時間	10人	ベトナム語6人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。かきくけこ(ひらがなカード・五十音表・練習プリントなどを使いながら)、絵本の読み聞かせ、受験についての説明
5	2012/10/22 9:30~12:00	2.5 時間	8人	ベトナム語6人 カンボジア語2人	教授者6人	さしすせそ(ひらがなカード・五十音表・練習プリントなどを使いながら)、絵本の読み聞かせ、学校で使われる学習用語について
6	2012/10/29 9:30~12:00	2.5 時間	10人	ベトナム語6人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。たちつと(ひらがなカード・五十音表・練習プリントなどを使いながら)、絵本の読み聞かせ、学校生活について
7	2012/11/5 9:30~12:00	2.5 時間	10人	ベトナム語6人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。なにぬねの(ひらがなカード・五十音表・練習プリントなどを使いながら)、絵本の読み聞かせ、学校生活について

8	2012/11/12 9:30~12:00	2.5 時間	8人	ベトナム語4人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。はひふへほ (ひらがなカード・五十音 表・練習プリントなどを使 いながら)、絵本の読み聞 かせ、学力は家庭で伸びる
9	2012/11/19 9:30~12:00	2.5 時間	6人	ベトナム語4人 カンボジア語2人	教授者6人	前回の復習。まみむめも (ひらがなカード・五十音 表・練習プリントなどを使 いながら)、絵本の読み聞 かせ、学力は家庭で伸びる
10	2012/11/26 9:30~12:00	2.5 時間	12人	ベトナム語8人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。やゆよ(ひら がなカード・五十音表・練 習プリントなどを使いなが ら)、絵本の読み聞かせ。 学力は家庭で伸びる。いち ょう小学校学習発表会見 学
11	2012/12/3 9:30~12:00	2.5 時間	14人	ベトナム語10人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。わをん(ひら がなカード・五十音表・練 習プリントなどを使いなが ら)、絵本の読み聞かせ、 学力は家庭で伸びる
12	2012/12/10 9:30~12:00	2.5 時間	12人	ベトナム語8人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。ひらがな五十 音復習(ひらがなカード・ 五十音表・練習プリントな どを使いながら)、ひらが なことばカード、絵本の読 み聞かせ、学力は家庭で伸 びる
13	2012/12/17 9:30~12:00	2.5 時間	10人	ベトナム語6人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。ひらがな五十 音復習(ひらがなカード・ 五十音表・練習プリントな どを使いながら)、ひらが なことばカード、絵本の読 み聞かせ、学力は家庭で伸 びる、クリスマス会につい

						ての話し合い
14	2012/12/24 9:30~12:00	2.5 時間	12人	ベトナム語8人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。ひらがな五十音復習(ひらがなカード・五十音表・練習プリントなどを使いながら)、ひらがなことばカード、絵本の読み聞かせ、学力は家庭で伸びる、クリスマス会
15	2013/1/7 9:30~12:00	2.5 時間	12人	ベトナム語8人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。ひらがな五十音復習(ひらがなカード・五十音表・練習プリントなどを使いながら)、ひらがなことばカード、絵本の読み聞かせ、学力は家庭で伸びる、ベトナム語の紙芝居を読む
16	2013/1/14 9:30~12:00	2.5 時間	12人	ベトナム語8人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。ひらがなことばカード、校長先生からのお話、学力は家庭で伸びる、ベトナム語で紙芝居を聞こう(親による読み聞かせ)、絵本の読み聞かせ
17	2013/1/21 9:30~12:00	2.5 時間	14人	ベトナム語10人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。ことばのプリント、絵カード、絵本の読み聞かせ、学力は家庭で伸びる
18	2013/1/28 9:30~12:00	2.5 時間	12人	ベトナム語10人 カンボジア語2人	教授者6人	前回の復習。ことばのプリント、絵カード、豆まきをしよう、人形劇観劇、ビンゴ
19	2013/2/4 9:30~12:00	2.5 時間	12人	ベトナム語8人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。ことばのプリント、絵カード、カルタ、絵本の読み聞かせ、学力は家庭で伸びる
20	2013/2/18 9:30~12:00	2.5 時間	16人	ベトナム語12人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。絵カード。交通安全紙芝居。実際にグラ

						ウンドで歩行の訓練。
21	2013/2/25 9:30～12:00	2.5 時間	14人	ベトナム語10人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。ことばのプリント、絵カード、カルタ、絵本の読み聞かせ、学力は家庭で伸びる
22	2012/3/3 9:30～12:00	2.5 時間	12人	ベトナム語8人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。非行防止のための紙芝居、自転車の危険な乗り方について、大カルタとり、護身術講座
23	2012/3/10 9:30～12:00	2.5 時間	12人	ベトナム語8人 カンボジア語4人	教授者6人	前回の復習。ことばのプリント、絵カード、数え方(1年生の学習プリント)、カルタ、絵本の読み聞かせ、学力は家庭で伸びる
24	2012/3/17 9:30～12:00	2.5 時間	2人	ベトナム語2人	教授者6人	前回の復習。ことばのプリント、絵カード、数え方(1年生の学習プリント)、学力は家庭で伸びる、図書館による読み聞かせおよび手遊び

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

1月14日

「起立(たってください)、気をつけ、礼」から授業をはじめる。前回行ったひらがな絵カードの復習。絵カードを見ながら、その名前を言う。ひと通り終わったら、文字だけを見せ、文字で読んでみる。「まみむめも」「やゆよ」の読み方練習。書き方プリントを配り、名前を書いた後、各自プリントを行う。教授者などが横につき、母親たちも一緒に見守りながら、練習する。文字をかたどった迷路などにも挑戦し、少しずつ鉛筆の扱い方の上達もはかる。

小学校の校長先生から、小学校に入ってから話を少ししてもらおう。絵カードでこどもが学習する間、親たちへ小学校に入る前に気をつけること、小学校に入ってから気をつけることなど心構えについて、母語の通訳を入れながら、お話を聞く。

学校への欠席等の連絡の仕方を学ぶ。電話での連絡場面を想定し、簡単に欠席理由を伝える練習。

「学力は家庭で伸びる」より、「帰宅したら顔を見ておかえりなさいという」の部分について、日本語と母語で内容説明。子供の顔を見て表情を読み取る、あいさつは大事なコミュニケーションである、ということあらためて確認。母国での習慣や自分の普段の生活などについて、

日本語と母語を交えながら、会話。「壁にぶつかっても手をかさない」の部分について、日本語と母語で内容説明。こどもとの関わり方について前のテーマと同様の流れで会話をする。

前回までに、親たちが練習したベトナム語の紙芝居を子どもたちに見せる。同じ紙芝居を日本語でも聞かせる。その後、3冊の絵本の読み聞かせを行う。

2月18日

「起立(たってください)、気をつけ、礼」から授業をはじめる。前回までに行った「くだもの・やさいカード」、「動物カード」、「のりものカード」の復習。絵を見て名前を言っていく。ひらがなの面も一緒に読んでみる。

警察や交通安全協会、区役所の人たちから交通安全指導の紙芝居を通して、急な飛び出しの危険性などについて、親たちも一緒に、通訳を交えながら、話を聞く。

校庭に出て、警察や地域の方の協力で模式的に作った道路で、信号や横断歩道、路上駐車している車などに気をつけながら歩く練習をする。親たちにもどういったところが危険が多いか、具体的に伝える。

教室に戻り、かるた取りでひらがなの理解を深める。





4. 事業に対する評価について

(1) 当初の学習目標の達成状況

「地域で学ぶ日本語教室」については、12月にN5を1名受験し、合格した。他の受講生も概ね同等の力を有しており、受験すればN5試験には合格できる能力があると思われる。漢字については小学校1年生程度の漢字はすべて学び終わることができた。母語による通訳と母語での漢字解説書があったので、効率的に学ぶことができたと思う。進学については今年度は希望者がいなかったが、妊娠中の人と就労年齢に達していない人を除き、全員就職することができた。

「就労者のための夜の日本語教室」については、N4を3名が受験し、無事合格することができた。多くの人は今年度の日本語能力試験を受験しなかったが、初歩学習者はN5、初級学習者はN4に合格する能力は有していると思われる。定時制への進学を希望していた7人は授業前に面接練習などを繰り返し行なったこともあり、全員合格することができた。会話などの時間を多くとり、会話への対応になれることができたことも大きな要因だったと思う。

「親と子どものためのプレスクール」については、子どもたちはひらがなや数の数え方、いろいろな言葉など、小学校入学にあたり、必要な多くのことを習得することができた。

親たちも日本の学校や教育についてや様々な学習用語などについて学ぶことができた。また、日本の家庭で行なっているしつけの方法や親にできる家庭教育についてなど、これからの子どもたちの育ちに欠かせない知識を学ぶことができた。また、本などの大切さについてもしっかりと認識してくれており、自ら母語での紙芝居に挑戦したり、子どもがより多くの本に触れる機会について、真剣に考えるようになった。また、子供のしつけなどについて多くの会話をし、会話の中で出てきた話題、例えば学校への欠席の電話の仕方など、積極的に日本語を学ぶことができた。

(2) 学習者の習得状況

「地域で学ぶ日本語教室」は来日後の期間は、幅が広がったが、日本語のレベルとしてはそれほど大きな差はなかった。期間途中で来日して学習に加わったり、途中で仕事が決まり来られなくなったり、仕事が無くなってまた来られるようになったり、と全員が安定して学べる状況ではなかった。しかし、母語が出来る人がいること、同国人がいることなどから学習者は安心して学習できたようである。年齢が高い人は漢字などの学習は難しかったようだが、単語のみで会話していたのが、少しずつ文章での会話ができるようになった。途中で来日した人たちも、前後の時間

や他の教室でも手厚くサポートして、最終的には初級の前半の学習を終えることができた。全体として文字、文法ともに今後の学習の基礎となる日本語は身につけることができた。

「就労者のための夜の日本語教室」では来日後の期間、日本語の能力ともに幅があり、おおまかにクラス編成して対応した。初歩のクラスは自己紹介から始めて、初級の前半までを学ぶことができた。あまり長くない期間で、仕事を終えてから学ぶには少しボリュームが多かったかもしれないが、通訳も入っていたため、文法的な理解はできたと思う。また、地域の方やボランティアなどとも会話をする時間を持ったため、会話の力もつけることができた。初級のクラスでは来日後の期間が長く、年齢的には30代から40代くらいの人たちが多かった。ある程度話はできているようにも感じたが、通訳を通して話をしてみると思った以上にわかっていないことが多く、今回学んだ範囲である、自動詞他動詞、受身形や可能形、使役形などよく理解できていなかったり、なんとなくわかっていても、使えなかったり、という人が多かった。今回通訳を通してしっかりと確認しながら、学べたので、理解は十分にできたと思う。また、様々なテーマに沿って、学んだ文法を使いながら会話することで、実際に使える能力になった。地域の方や同国人とのつながりも深めることができ、日常的に日本語での会話ができる環境づくりにもつながった。

「親とこどものためのプレスクール」では、こどもたちは多くの語彙を獲得し、ひらがなの読み書きについても、十分に習得できたのではないと思う。当初は鉛筆も持てなかったこどもが自由に文字を書けるようになったり、絵本も自分で読めるまでになった。

親たちも日本での教育のあり方や様々な社会資源へのつながり方を学びながら、こどもを育てていく上で必要な言葉や知識を習得することができた。

(3) 日本語教室設置運営の効果、成果

今年度は東日本大震災の影響を大きく受けた。地域的にも3月から5月にかけて帰国する人が多く、新規の来日者もあまり多くはなかった印象である。とはいえ、結婚などによる新規来日者は相変わらず続いており、いきなり日本社会で生活を始めざるを得ない人は多い。そういった環境で生活している人たちの一部ではあるが、今回の事業を通し、日本語の基本的な知識は十分に身につけることができたという意味で効果は十分にあった。

また、地域に住む若者たちも多く関わってくれており、母語と日本語とを活かしながら、少しづつ地域の人と人をつなぐ顔へと成長してきている。地域に住む一人の日本人の若者は、これらの事業に関わる中で、日本語教育への関心をふくらませ、日本語教育能力検定試験にも合格し、地域の日本人住民と外国籍住民とをつなぐ役割を担いつつある。

地域の諸機関がこの事業を通してつながるといことも大きな成果であった。今年度は自治会、コミュニティハウス、警察、区役所、図書館など様々な期間と連携して教室運営を行い、結果として地域の活性化にもつながる企画を行うことができたと思う。

日本語を学ぶための日本語教室としての成果はもとより、人と人、組織と組織をつなぎ、地域コミュニティの活性化につなげる意味でも、大きな成果があったといえる。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

今年度は昨年度まで以上に地域の諸機関との連携を強めることができた。特に、警察や区役所との連携を強めることができたことがよかった。警察ではこれまで地域の外国籍住民向けの取り組みについて、あまり成果を残すことができずにいたようだが、今回日本語教室という日常的つながりの場を通すことで、一過性のイベントでは残せない成果が残せたのではないかと思う。また、こちらの企画としても、全体に厚みを持たすことができたのではないかと思う。特にプレスクールでは交通安全指導と非行防止、自転車の危険な乗り方への注意喚起など、こどもが小学校に上がるにあたって大切な命に関わる指導ができたのは大きな成果だったといえる。

また、図書館とのつながりも大きかった。多くの絵本を長期間にわたって借りられたことと同時に、読み聞かせのノウハウや年齢にあった本の選び方などプロから聞けることは大変ありがたかった。なかなか都合が合わず、プレスクールに来ていただいたのが最終回で、ほとんどのこどもが卒園式やインフルエンザで休んでいたことは残念だったが、プロの手遊びや読み聞かせにこどもが目をキラキラさせていたのは大変印象的であった。次年度以降、同じ事業が行えれば、欠かすことができないつながりだと実感した。

自治会およびコミュニティハウス、小学校も大変好意的に協力して下さり、場所も当初の予定では一部屋だったのを、広く使えるように、二部屋確保してくださったりと、多くの気遣いをしていただいた。また、授業をしているところに時々のおきに来てくれたりと学習者たちとも顔の見える関係をたくさん作ってくださった。こういったつながりが普段の生活の中で多くの日本語を使う場面を生み出してくれるだろうと思う。

(5) 改善点、今後の課題について

① 現状

地域の日本語学習者は、日本語習得よりも仕事を優先させざるを得ない事が多く、安定して学ぶ時間を確保することが難しい。夜の時間帯も残業次第で来られなくなってしまうことも多い。

地域内にはまだ、日本語学習を必要としている人が多く存在し、また現在も新たな来日が続いている。仕事は増減を繰り返しているが、徐々に仕事につける人とつけない人との間に差がつきつつある。やはり日本語力があり、資格取得などに対しても積極的にチャレンジしていける人の方が職に就ける傾向にある。そのことから、来日初期段階でのしっかりとした日本語学習環境は今後も重要であろうと考える。

様々な生活場面での日本語を考えるときに、『「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的カリキュラム案について』をもっと有効に使えればと思うのだが、まだ十分に使えているとは言えず、今後はガイドブックなども参考にしながら、活用を試みたい。

こどもたちについては、実際に小学校に入ってからでなければ、成果がわからないが、今回できたつながりを大事にしながら、長期的に関わり様子を見守り、サポートしていく必要がある。また、次年度以降の子どもたちについても今年度の子どもたちと同様の状況があると考えられ、この取組の必要性は高いと感じている。

② 今後の課題

地域内において、今後も日本語学習のニーズは高まるであろうと思われる。また、周辺地域へも外国籍住民が増え始めてきており、この地域を中心とした、広い範囲についても対象としていく必要があり、また多様な生活のリズムに対応できる時間帯での教室の拡充が必要である。

基礎的な日本語を学んでもらうことも重要だが、資格取得など、職につながる学習に特化した学びの場も検討する必要はあるかもしれない。

プレスクールで作った人のつながりを今後にもつなげていくための長期的関わりの場も検討していく必要がある。

③ 今後の活動予定, 展望

引き続き日本語を学びたいという希望者が多いことから、継続して日本語を学ぶ場づくりが必要である。また、より多くの地域の中の母語ができる人たちの力を巻き込み、時間帯の拡大等についても検討していく。

将来のビジョンを描くために、今年度は実現しなかったが、神奈川県国際言語文化アカデミアやハローワークなどとの連携も考えながら、情報提供や言葉の学習を取り入れていけたらと思う。

子どもたちについては長期的に考える必要があり、また親たちのつながりを生かすためにも、入学後も継続してサポートできる場を作りたいと思う。

これまで築いた人と組織のネットワークを生きたものとしていくためにも、一つのコミュニティとしての日本語教室のあり方について検討し、活動を継続させていきたいと思う。